

展示場所： けいはんなプラザ 1階 イベントホール 1

展示日時： 11/8(木) 15:30-17:00 11/9(金) 10:00-17:00 11/10(土) 10:00-16:30

出展者所属	表題	概要
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 多言語翻訳研究室	実用的な自動翻訳 ～多言語・多分野での高精度翻訳に向けて～	自動翻訳は身近になってきたが、Web上での無料翻訳などをみればわかるように、まだ翻訳精度は低い。本展示においては、分野を限定することにより、高精度な機械翻訳が可能であり、それらが実用的であることを示します。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所	世界の23か国と協力して言語の壁への挑戦	NICTが主導するユニバーサル音声翻訳先端研究コンソーシアムU-STAR(2012年9月現在、23ヶ国26機関加盟)は世界中の言語の壁を超えるため、NICT提案のITU-T標準ネットワーク型音声翻訳通信プロトコルを用いて多言語音声翻訳システムを共同開発しました。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 音声コミュニケーション研究室	音声認識による講演映像の字幕作成	ウェブ上の映像・音声データを検索・分析するためのインデキシング情報付与技術開発の一環として、音声認識による字幕付与に取り組んでいます。本展示では、音声認識を困難にする問題を整理し、英語講演を対象として順次改善を試みた結果を紹介いたします。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 音声コミュニケーション研究室	ネットワーク型音声対話システム開発ツール:WFSTDM ビルダ	我々は、移植性、拡張性の高い重み付き有限状態トランスデューサ(WFST)に基づく対話制御法WFSTDMを考案しました。一般のアプリケーション開発者に音声対話システムを簡単に導入してもらうため、ネットワーク型音声対話開発ツールWFSTDMビルダを開発しました。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 音声コミュニケーション研究室	ろう者と健聴者のコミュニケーション支援アプリ(UniTra)	ろう者が健聴者とコミュニケーションする方法としては筆談が一般的ですが、時間がかかる、面倒などの理由で、ろう者が必要な情報を得られないことがあります。UniTraでは音声入力や定型文を活用することによりスムーズなコミュニケーションを支援します。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 音声コミュニケーション研究室	音声対話・情報推薦技術を用いた観光アプリケーション	音声対話技術を用いた京都観光案内アプリケーション「AssisTra」および、情報推薦技術を用いた京都観光スポットを推薦するアプリケーション「京のおすすめ」を紹介します。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 音声コミュニケーション研究室	ディープオートエンコーダを用いた音声復元	本研究では、雑音重畳音声からクリーン音声を復元するためのディープオートエンコーダの事前学習法についての検討し、雑音重畳音声を用いた音声認識実験により評価を行います。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 音声コミュニケーション研究室	あなたの声で翻訳します —異言語間話者適応音声合成—	ユーザが話した言葉を外国語に翻訳してユーザ自身の声で喋ってくれる — そうした次世代の音声翻訳システムの実現に向けた取り組みを紹介いたします。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 情報分析研究室	次世代の音声質問応答:より多様・複雑な情報ニーズに応える	けいはんな情報通信フェア2012では、音声質問応答システム「一休」の最近の研究結果を紹介いたします。主な進展は、理由を問う質問に対して説明文で答えられる「なぜ型QA」の実現と、一休を災害時の情報ニーズに応用した「耐災害QA」です。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 情報利活用基盤研究室	リアルとサイバーをつなぐビッグデータ利活用基盤	センシング情報、科学データアーカイブ、ソーシャルメディア情報、Webアーカイブなど、世の中に溢れる様々なビッグデータを組み合わせ、リアルとサイバーのつながりを多角的に捉えるために情報を整理統合する技術(Data Curation)を展示します。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 情報利活用基盤研究室	私だけのセンサーを作る実世界情報収集クラウド基盤	環境データからSNSのつぶやきまで、世の中に溢れる様々な“センサー情報”をまとめ、ユーザが今知りたい出来事に関する専用の仮想センサーを作る情報サービス技術と、OpenFlowを活用し膨大なセンサー情報の集約と解析を効率よく行う新世代ネットワーク技術を展示します。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 情報利活用基盤研究室	データ中心科学のための異分野データベース横断検索エンジン	世界100拠点以上からなる大規模科学データベースWDSを対象に、地域や時期、過去の事実関係、文献からの引用などを手掛かりに、環境データから社会情報まで、ある現象と関連性のある様々な分野のデータをまとめて検索する横断検索エンジンを展示します。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 超臨場感映像研究室	立体空中映像に触ろう	メガネをかけなくても空中に浮かぶ立体映像を観察でき、さらにそれを指で触ることができます。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 多感覚・評価研究室	多感覚情報の統合と認知	多感覚(視覚、聴覚、触覚、嗅覚等)の情報を統合して、自然でリアルな臨場感を創り出すための研究開発を進めています。今回は、複数の香りや様々な感触を提示するシステムや多感覚情報(香り、感触、映像等)の統合効果を検証する認知実験を紹介いたします。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 多感覚・評価研究室	脳の中の臨場感	脳活動から人が感じる臨場感を客観的・定量的に評価する技術の実現を目指して、広視野3D映像や立体音響により脳内に臨場感が生じる仕組みを理解する取り組みを紹介いたします。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 多感覚・評価研究室	音が伝える臨場感	球面上に並べたマルチスピーカから出る音を微妙に制御することで、実際に録音した楽器の演奏者や発話者の向きを自由に操作でき、音情報だけでなく演奏者や発話者の向きが変化する感覚を自分で体験しながら確認できます。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 多感覚・評価研究室	3D映像の安全性と活用	3D映像の安全性に関する心理・生理評価実験(3Dテレビ視聴による疲労の大規模評価、各種3D方式に対する目の視機能評価等)、および3D映像による臨場感の向上効果や音楽技能の伝達効果の評価実験について紹介いたします。
NICTユニバーサルコミュニケーション研究所 企画室	4K3D超高精細3次元映像のライブ伝送 — けいはんな情報通信オープンラボテストベッド —	現行放送ハイビジョンに比べて、4倍高精細かつ立体(3D)映像のライブ伝送デモを行います。NICTの「マルチチャネル映像伝送技術(オールソフトウエアコーデック)」を用いて、4K3D超高精細3次元映像のライブ伝送を実現しました。

↓ 前ページから続く ↓

ATR知能ロボティクス研究所 ネットワークロボット研究室	高齢者・障がい者の生活をサポートするユビキタスネットワークロボット技術	スマホ、センサ、ロボットが連携して高齢者・障がい者を含む人々の暮らしをサポートするユビキタスネットワークロボット技術を紹介します。
SCSK株式会社 CSR推進部	CAMP (Children's Art Museum & Park)	CAMPは、子どもたちの「共に創る力」を育むSCSKグループの社会貢献活動です。2001年春に開所した大川センターを活動拠点として、子どもたちの創造性や表現力を引き出す様々なワークショップを開発・実践し、全国の子どもたちに届けています。
NTTコミュニケーション科学基礎研究所 協創情報研究部	幼児コンテンツ作成のための発達に即した語彙検索システム	京阪奈地区約1700名の幼児から語彙チェックリスト法で取得した大規模データを解析して作成した、幼児コンテンツ作成を支援するための語彙検索システムを紹介します。
大阪電気通信大学 研究連携推進センター	研究連携推進センターと産学連携事例紹介	昨年7月に発足した研究連携推進センターの紹介と、2011年より採択された地域イノベーション戦略支援プログラムについて紹介します。
国立国会図書館関西館	国立国会図書館の電子図書館サービス	国立国会図書館が提供する電子図書館サービスについて、パネル展示と関連パンフレットの配布を行います。また、関西館にて利用いただける文献提供サービスも御紹介します。
同志社大学	同志社大学研究シーズの紹介およびリエゾンオフィス活動紹介	本学が有する情報通信分野の研究シーズをご紹介します。また、本学リエゾンオフィス活動紹介や産官学連携活動の取り組み事例についてご紹介します。
奈良先端科学技術大学院大学	奈良先端大最新技術トピックス 1. ディペンダブルシステム2. 柔軟な暗号鍵管理方式	1. 回路の消費電力・温度を空間的にも時間的にも均一化して高精度のLSIタイミング検査をする手法 2. 個人が持つ身分や権限を無関係な第三者が検証可能とするための仕組み: 初見の顧客の身分・資格を該顧客の組織等に問合わせることなく確認可能
独立行政法人日本原子力研究開発機構	独立行政法人日本原子力研究開発機構での研究開発(量子ビーム応用研究部門(木津)、レーザー共同研究所)	関西光科学研究所を中心で行っているレーザーを使った産業応用・医療展開(複合型ファイバーによる低侵襲診断治療器、レーザーによる粒子加速とそのシミュレーション、等)について、パネル・展示物を使って説明します。また、量子ビームテクノロジーの紹介、木津地区での研究紹介冊子の配布を行います。
けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会	けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会10周年	設立10周年となった「けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会」のおこなっている産官学連携の活動についてご紹介します。